



独立行政法人国立病院機構 東徳島医療センター

〒779-0193 徳島県板野郡板野町大寺字大向北1-1

TEL 088-672-1171 FAX 088-672-3809 URL <https://higashitokushima.hosp.go.jp/> e-mail 515-KANRIKA@mail.hosp.go.jp

やさしい笑顔と よりそう医療

1月号  
vol.198  
2022.1.1



新 年 の あ い さ つ

東徳島医療センター院長 井内 新

皆様明けましておめでとうございます。

2022年の年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

一昨年、昨年と新型コロナウイルス感染症が世界的規模で蔓延し、その対策に追われる日々が続いています。東徳島医療センターにおいても昨年4月からは新局面に入り、県内の公立医療機関などと情報を共有しながら新型コロナウイルス感染症への対応を病院一丸となって注意深く行ってまいりました。当初この新型コロナウイルス感染症が中国で発生したときは、SARSのように日本まで影響が及ぶことなく短期間で終息するものと思いましたが、症状発症前から感染しうることやウイルス自体がいろいろと変異を重ねたことにより、世界中に拡がり、先行きが見えない状況になっています。

さて、一方では世界人口の増加や産業活動が活発化したことから、温室効果ガスの排出が多くなり、地球温暖化が進みつつあります。長い目で見ると地球温暖化に伴う異常気象が農作物の収穫減少や海水面の上昇などを引き起こし、食糧やエネルギー危機により多くの人命が失われることを意味します。新型コロナウイルスの蔓延はそのようなエネルギーバランスを調節するための地球の自浄作用の一部であり、密になりすぎた人類に対する警鐘とも考えることができます。ちなみにコロナ禍で一時的にせよ中国では社会経済活動の縮小により大気環境が20%程度改善し、インドでは河川の水質改善もみられた

との報告があります。将来的には新型コロナウイルスだけではなく、インフルエンザなどの他のウイルスも大きな変異を起こし、人類に対し活動を抑制させ、さらに脱炭素社会への強制的な変革を促してくる可能性も十分にあります。先日、イギリスで行われた国連気候変動枠組条約第26回締約国会議（COP26）では、産業革命前からの気温上昇幅1.5℃の目標を達成するため2050年までに世界の二酸化炭素排出量実質ゼロ（いわゆるカーボンニュートラル）という目標が設定されましたが、新型コロナウイルスの世界的流行という危機的状況がなければまともななかったものと思います。

新型コロナウイルスの流行をいわゆるプラス思考で考え、ウイルスが変異するのですから我々人類もそれに合わせて進化し、今回のコロナ禍を通じて感染防御の基礎知識や心構えを培い、自分自身と周囲の大切な方々を守り、そしてエネルギーを浪費しないhybridな社会をめざせる社会の1年目となることを期待しています。

2022



# 新任の挨拶

循環器科医長 木村 恵理子



前任地の徳島市民病院循環器内科で7年程勤務し、この度令和3年10月1日から東徳島医療センター循環器科で勤務させていただいております、木村 恵理子と申します。

この場をお借りして、少し自己紹介をさせていただきます。

生まれも育ちも徳島で、平成13年3月に徳島大学を卒業し、同年4月に、当時、大木先生(名誉院長)が循環器内科のトップでおられた徳島大学循環器内科(旧第2内科)に入局しました。学生時代は、大学生の時の心電図の講義で、心臓の電気活動によって記された線図(心電図)を読み解いたり、弁膜症等の心臓の病気による血行動態から来し得る心臓内の形態変化等を考えて病気を知るのが楽しかったのを覚えています。こういった学ぶことの楽しさから、迷うことなく循環器内科に進みました。これまでは、狭心症・心筋梗塞等の虚血性心疾患、心不全、心筋症、不整脈、高血圧、糖尿病等の診療を主に行っておりました。微力ながら、少しでも地域医療に貢献できればと思っております。

ところで、徳島県内の勤務地は4か所目ですが、勤務の道中での、橋を渡りながら見られる風光明媚な吉野川

の景色が新鮮で、お気に入りの景色となっています。

趣味は、以前は旅行が好きで、国内海外を問わず、知らない街をブラブラ歩いたり、観光地巡りをしたりしていましたが、ここ2年程はコロナ禍で、県外移動が難しくなりました。とは言っても、家ごもりばかりもストレスが溜まります。登山が好きな友人の誘いもあって、去年の晩夏に剣山に初登頂をしました。しかし、初登頂は台風一過の翌日で風が強くて霧が多く、山頂からの景色は、楽しめるような期待したものではありませんでした。あらかじめ用意したせっかくの行動食も楽しむ間もなく、すぐ下山しました。こういったわけで、去年の心残りがあって、今年も2年連続剣山に登頂しました。今年はそのその晴天に恵まれ、霧も少なく、山頂から次郎ギウウまでの縦走路が見渡せるほどの絶景で、持参したお弁当を景色を楽しみながらゆっくり食べることができて満足でした。今年の剣山の心残りは、次郎ギウウの縦走を途中断念したということで、次回の剣山登山は、次郎ギウウの縦走路を完歩するという新たな目標ができました。ここ最近では、コロナの感染者数が落ち着いたこともあり、紅葉狩りに行ったり、季節の花を見ながら散歩したりして気晴らしをしています。コロナの感染者数がこのまま落ち着き続けることを祈っています。



# パルスオキシメーター

特定行為研修修了者 副看護師長 矢野 祐樹

## SpO<sub>2</sub>(経皮的酸素飽和度)

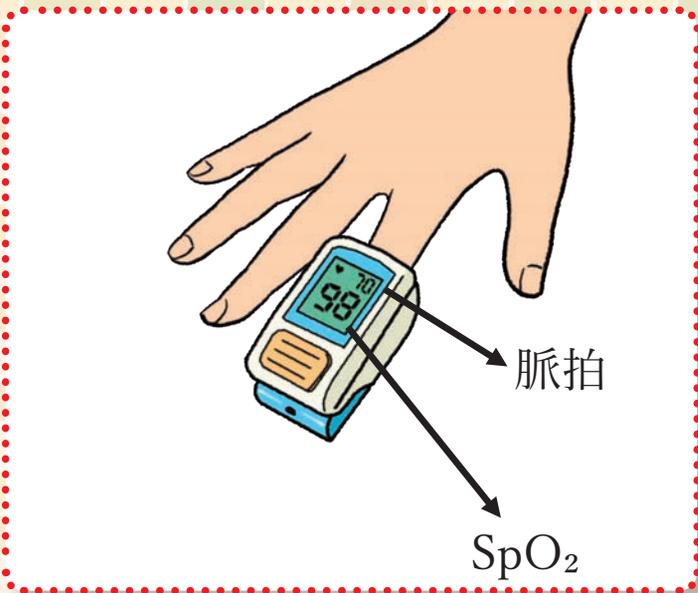
呼吸器関連特定行為3区分6項目終了  
 気道確保に係るもの関連1行為  
 人工呼吸療法に係るもの関連4行為  
 長期呼吸療法のかかるもの関連1行為

### とは？

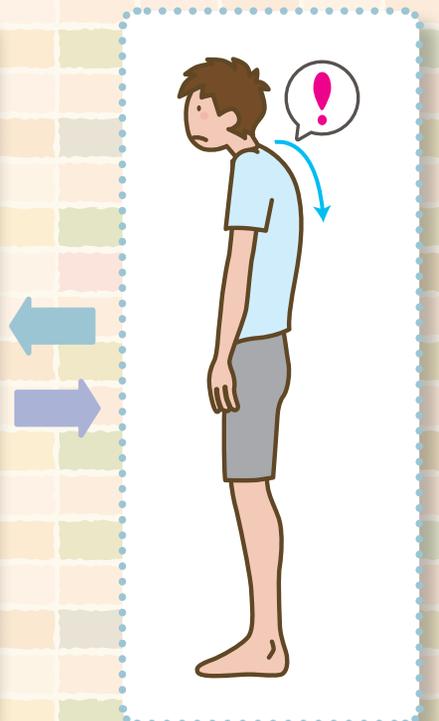
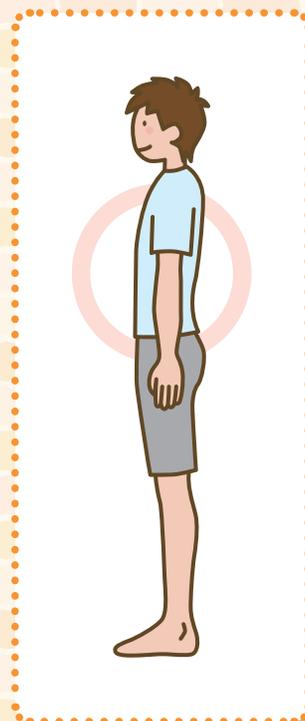
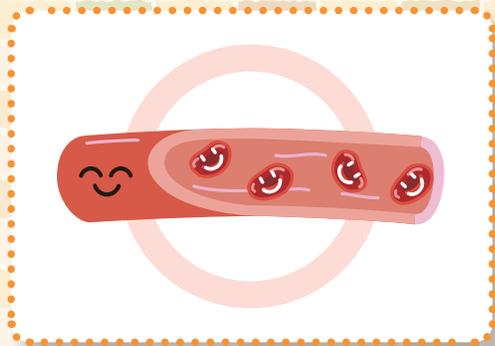
テレビや新聞等で、パルスオキシメーターやSpO<sub>2</sub>（エスピーオーツー）という言葉をよく耳にします。この二つの言葉の意味はなんなのでしょうか？説明させて顶きたいと思ひます。

パルスオキシメーターで測るのは、「動脈血酸素飽和度と脈拍」です。パルスオキシメーターを指先に装着すると、器械から赤外光と赤色光の二つのLEDが発光します。この光の通過する比率を計算して、SpO<sub>2</sub>（経皮的酸素飽和度）を測定することができます。安静時のSpO<sub>2</sub>の正常値は

96%以上と言われてはいますが、呼吸の仕方、姿勢、動作によっても変化します。また手先が冷たく循環が悪い場合やマニキュアを塗っている場合等は、先程説明した赤外光と赤色光が指の間を通過しにくくなり、低い値になる時や測定できない時もあります。安静時のSpO<sub>2</sub>が90%以下になる場合は、何らかの原因で低下している可能性が高いので医療機関の受診をお勧めします。医療用語など疑問に思うことがあればなんでも聞いてくださいね。



### 血管内





# 閉塞感に負けない！

～初めての釣りに奮闘記～

西4ユニット病棟 田中 一平

寒さが厳しくなってきましたね。新型コロナウイルス感染症の影響が長期化しており、世の中にどこか閉塞感が漂っている気がしています。僕自身、これまで音楽や映画などインドアでの趣味が多かったのですが、この閉塞感に負けないように今年から「釣り」にチャレンジしています。生まれが山地なので、これまで釣りの経験は数えるほどしか無かったので、まず釣具屋に行って、店員さんに「どうすれば魚って釣れるようになるんですか？」とストレートに聞きました。少し苦笑いしながら店員さんが一つひとつ丁寧に教えてくれ、まずは小さいアジやサバなどを釣る「サビキ釣り」から始めることにしました。

徳島は釣りが盛んな地域なので、詳しい方も多いと思いますが、サビキ釣りとは釣り糸に複数の針がついており、餌かごを錘と併用して使用します。糸の結び方から全く未経験でしたので、釣具屋さんの店員さんが勧めてくれたままの道具を揃えて、仕掛けはYouTubeの動画を見ながら作っていました。そして、迎えた人生初めての釣りの日。まだ見ぬ魚たちに胸を躍らせながら仕掛けを海の中へ……しかし、待てど暮らせどヒットは無し……

どこかが悪いのかもわからず、ほろ苦いデビューとなりました。そんな私を見かねてか、同じ場所で釣りをしていた年配男性の方が「こうした方が釣れると思うよ。」と救いの手を差し出してくれました。初めてお会いする方でした

がとても丁寧に、YouTubeの動画では教えてくれないこともたくさん教えてもらい、別の日に一緒に釣りをした際には人生で初めてのヒット！とても小さかったですが、どこか童心に戻ったようでとてもうれしい気持ちになりました。今の時代、インターネットでどんな情報でも得られますが、やはり直接教えてもらうのが一番勉強になると感じました。

それから、キス、太刀魚、アジング、エギングなど様々な釣りをシーズンに合わせて楽しんでいます。中でも一番印象に残っているのが、釣り船での体験です。友人と一緒に早朝6時より鳴門を出港し、鳴門大橋の真下、釣りのポイントへ。慣れない船の上での釣り、船頭さんに叱られながら、一投一投海の中で仕掛けがどのように動いているのかイメージしながら悪戦苦闘すること3時間、突然竿を持つ手に衝撃が走り、驚く間もなく船頭さんが「竿を振らずにリールを巻く手を止めるな！」と大きな声。とにかく船頭さんの言うことだけを聞き、水面に姿を現したのは全長約56cmの綺麗な鯛！「いいサイズや！」という船頭さんの笑顔を見た瞬間に全身の力が抜け、我に返りました。釣りは自然との対話であり、同時に人と人を繋げてくれる機会であると思っています。釣りに詳しい方がいらっしゃいましたら是非ご教示お願いいたします！

